

「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会」開催について（案）

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 高谷和生

本会「くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク」は、来年で結成13年目を向かえます。これまで県内各地の戦争遺跡の調査・研究や保存活動を行い、合わせて県内航空遺産をはじめ戦時資料の調査・研究・検証活動を通して、「戦争の記憶を語り継ぎ、平和の大切さを学ぶ活動」を進めてきました。

昨年度は、平成28年熊本地震という未曾有の災害に直面し、県央を中心に戦争遺跡・遺物被災レスキュー活動をその核として「平和の継承事業Ⅳ」実施しました。このような活動のなかで、全国の多くの皆様方にご支援をいただき、皆様方との連携の必要性を強く感じました。

本大会の主催となる「戦争遺跡保存全国ネットワーク」は、全国に広がる戦争遺跡に学び、「戦争の悲惨さと平和の大切さ」を語り継ぎ、戦争遺跡を保存する活動を進めています。

毎年夏の大会では「保存運動の現状と課題」「調査の方法と整備技術」「平和博物館と次世代への継承」のテーマの基に、全国各地から多数の方々に参加され、協議を深めてきました。

今回、熊本県内で戦争遺産を通して地域づくり、戦争遺跡の保存や調査・検証、平和活動を進めておられる皆様方と一緒に、平成28年度熊本地震から復興しつつある熊本の姿を肌で感じていただき、さらなる「心の支援」を広げることがを願い、当地熊本で全国大会を開催したいと考えます。

記

- 1 大会名 **第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会**  
テーマ・キャッチフレーズ「未定」
- 2 開催期日 **平成31年8月23日(金曜日)～平成31年8月26日(月曜日)**  
設営・準備 平成31年8月23日(金曜日)午後  
開催日 平成31年8月24日(土曜日)～8月25日(日曜日)  
 8月23日(金) 午後は全国運営委員会  
 26日(月)は現地見学会の予定。
- 3 使用施設 **熊本市国際交流会館** 熊本市中央区花畑4-18  
URL : <http://www.kumamoto-if.or.jp/>  
 期日・会場ともに、全国大会として「優先予約」済み(9/1)  
 熊本コンベンション協会とは、各種助成・補助内容で相談中
- 4 参加予定 **約200～250名**
- 5 主催者名 **第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会**  
**戦争遺跡保存全国ネットワーク**
- 6 主会場予定内容  
(1) 8/24日：全体会・講演会場 「国際交流会館ホール」6・7階(230人定員)  
(2) 8/25日：分科会 ※すべて洋室仕様に変更  
 1分科会：第1会議室・4階(45人)  
 2分科会：第3会議室・4階(81人)  
 3分科会：大広間A・Bの通し利用・4階(104人) ※閉会集会場でも利用  
 図書交換会：2会議室・5階(32人) ※10時～3時まで  
 事務局控室：中会議室・5階(14人) ※23日午後より25日まで利用
- 7 全体会記念講演  
 講演者 ※未定  
 講演仮テーマ「熊本の近代化遺産」「西南戦争・熊本城」「熊本空襲」「平和活動」では
- 8 現地見学会 ※旅行業者の利用も可  
(1) 8/26日(月) ※国際交流会館前もしくは近辺から移乗できるよう都合をつけたい。  
(2) 見学会コース ※午前：1コース、終日：2コース  
 Aコース(9時～12時) ※要・個人名簿一覧提出  
「熊本市内の戦跡をめぐる」歩兵第13連隊食堂(現熊本学園大学第2体育館)、三菱熊本航空機製作所第2組立工場(現西部方面総監部九州補給支処)、義烈空挺隊慰霊碑、陸上自衛隊戦史資料室  
 Bコース(9時～15時) ※弁当手配か  
「菊池飛行場と黒石原奉安殿をめぐる」旧逓信省熊本航空機乗員養成所奉安殿、菊池飛行場ミュージアム、菊池飛行場給水塔・油倉庫・弾薬庫・格納庫  
 Cコース(9時～15時) ※弁当手配か  
「西南戦争の戦跡をめぐる」熊本市立田原坂資料館、国史跡田原坂遺跡群(熊本市北区植木町・玉東町)

## 9 諸準備

### (1) 大会の視察、参加

- 第22回戦争遺跡保存全国シンポジウム愛知県豊川大会  
2018年(平成30年)8月18日(土)・19日(日)に開催予定  
豊川市指定、豊川海軍航空廠建物・遺構等の保存、新設資料館の見学、ガイド養成 等
- 各団体等で可能な限り、大会参加により運営状況の掌握をお願いします。

### (2) 運営分担等のイメージ

- 受付(2日間での会場受付、当日参加対応):
- 全体会: 長野きぼうの家事務局と現地事務局で分担対応
- 記念講演: 現地事務局で人選・テーマ等を対応
- 総会: 戦争遺跡保存全国ネットワークで対応
- 各分科会運営(司会は全国運営委員が担当、三分科会に会場責任者が必要):
- 図書交換会(売り上げ1割をマージンで運営へ補助):
- 現地見学会(全三コースに運営責任者が必要):
- 会計(全体の会計予算案作成):
- 参加者名簿: 長野きぼうの家事務局と共同で作成
- 渉外 事務局長: 高谷

### (3) その他(運営費、予算、運営ボランティア 他)

- 大会参加費で、全ての大会業務は運営
- 事前の大会申し込み(発表・分科会参加・見学会参加 等)、参加費の振り込み
- 大会開催では、各会からの「運営ボランティア」の参加が必要です。

## 10 実行委員会・組織・関係団体等

### (1) 「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会」の立ち上げ

- 「戦争遺産フォーラムくまもと」の活動として  
→本事務局会で「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会」として、協議を重ね進行していきたい。
- 今後の協議事項等
  - どの様な開催スタイルが良いのか、熊本独自のカラーは……
  - 大会テーマ・キャッチフレーズは……
  - 大会の記念講演と講演者は……
  - 実行委員長は……

### (2) 実行委員会組織 ～戦跡保存団体・個人・平和活動の関係団体への働きかけ～

- ①熊本の戦争遺跡研究会
- ②人権NPO ちなもい
- ③花房飛行場の戦争遺産を未来につたえる会
- ④荒尾二造市民の会
- ⑤人吉・球磨の戦争遺跡を伝えるネットワーク
- ⑥人吉飛行場を顕彰する有志の会
- ⑦合志の近代化遺産を学ぶ会
- ⑧平和憲法を活かす熊本県民の会・熊本空襲を語り継ぐ会
- ⑨個人参加の方々 坂田和弘さん・三隅康資さん・上村真理子さん・牧口敏孝さん 他

- ⑩新老人の会熊本支部、新老人の会「戦争を語り継ぐ会」
- ⑪熊本原爆被爆2世・3世の会
- ⑫高校生平和大使の会熊本
- ⑬事業所「生活協同組合くまもと」平和委員会
- ⑭労働組合「連合熊本」平和部会
- ⑮関係学術団体(肥後考古学会、熊本史学会、熊本近代史研究会、熊本産業遺産研究会 他)
- ⑯その他興味関心を有する市民・県民の方々

### (3) その他

- 今後のスケジュール



事務局連絡先  
第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会  
事務局長 高谷 和生(たかたにかずお)  
 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5  
 電話&FAX 0968-74-5030  
 携帯 090-1513-528  
 メールアドレス takayanagi912@yahoo.co.jp